

## 26 急性心筋梗塞患者に対する 病院到着から 90 分以内の PCI 施行率

### 指標の解説

- PCI(経皮的冠動脈形成術)は、狭くなった血管をカテーテルやステントを使用して広げる治療法である。
- 急性心筋梗塞においては、発症後できるかぎり速やかに再灌流療法(閉塞した冠動脈の血流を再開させる治療)を行うことが救命のために非常に重要とされている。
- 本指標では、急性心筋梗塞で入院後24時間以内にPCIを受けた患者のうち、「K5461経皮的冠動脈形成術」及び「K5491経皮的冠動脈ステント留置術」を算定している患者の割合を示している。当該手術料を算定するためには、「症状発現後12時間以内に来院し、来院からバルーンカテーテルによる責任病変の再開通までの時間が90分以内であること」という要件を満たしている必要があり、本数値が高いほど、急性心筋梗塞の患者に対し迅速な治療を行っている」と評価できる。

分子：K5461 経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）または  
K5491 経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）の算定患者数  
分母：急性心筋梗塞患者のうち、入院後 24 時間以内に PCI を施行している患者数

